



郷づくり神興東



編集者：樋口英典

令和7年度を振り返って

郷づくり神興東では、住民交流・地域活性化のためのさまざまな事業に取り組んでいます。特に今年は、福井崇朗新市長を招いた意見交換会を開いたり、災害対策についても力を入れた一年でした。

また、各部会では、多彩な行事が開催されました。



クワイアコンサート
プロの歌声にうっとり



じんとうサロン
囲碁・麻雀など



パソコン教室
初心者も歓迎



郷カフェ
みんなで食事



餅つき大会
年末恒例行事



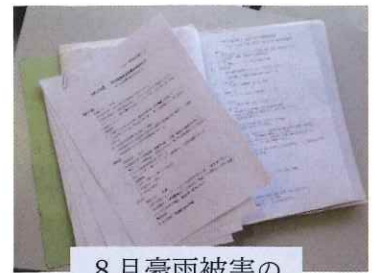
子育てサロン
すくすく成長

～ 災害に備えて 自治会訪問～

多分、5年位前になるかと思う。

当時、自主防災会会長の木下さん（現・郷づくり会長）から、「これからは、防災と防犯に力をいれる」との指示があった。

市から認定された「防災推進委員4人で、各自治会へ出向き地道に防災について話をしていこう。」自治会訪問が、スタートしました。



8月豪雨被害の
記録資料

- ◇ その当時、福津市は、山・海が近くにあり、風光明媚で人は優しく、福岡市・北九州市の中間にあり、交通の便が良く、加えて災害がなく住みやすい「まち」との評判でした。
- ◇ このような思いがある町内会へ、防災の話をしに行くにはかなり苦勞をしました。
「防災が大切なのは理解するが、そんなに頑張らなくてもよいのでは？まあ～頑張って」などと声をかけられました。
- ◇ 自治会訪問をするたびに多くのことを学びました。
通り堂区自治会は、かなり前から防災意識が高く、炊き出し班、救助班などの組織ができしており、災害時にはそれぞれの班が機能することになっています。
市一斉防災訓練においても、その体制で毎年訓練が行われています。
- ◇ 津丸区自治会は、消防団と連携し防火訓練を行っています。
町内にある消火栓・防火水槽の位置が地図に明記したものを参加者に配布し、消防団と一緒に放水訓練を行っています。
- ◇ そんな中、8月中旬、度重なる線状降水帯の発生、降り続く豪雨により、福津市内は大きな被害が発生したことは、悔しくて、悲しい出来事になりました。
「福津市の安全神話が崩れた」と思います。

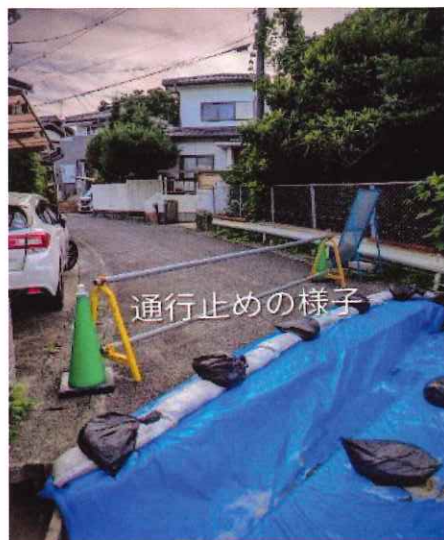
このことから改めて「命を守る」という防災の原点に立ち返り、常日頃から家族全員で、話し合いをしてみてください。

自治会訪問を始めて2・3年が経過するころには、みなさんの前で話すことにも慣れて、今は防災に限らず防犯に関することまでも話せるようになりました。

地球温暖化で度重なる台風の発生など世界の気象状況が大きく変動しています。

郷づくり神興東は「安全・安心」をスローガンに今後も自治会訪問を続けていきます。

防災部会長：井上 順一



～ 自治会長を訪ねて ～

「若木台 6 区」

若木台 6 区は神興東地域で最も世帯数が多い地域です。

自治会ではさまざまな行事に取り組んでおり、昨年 5 月の「300 歳ソフトボール大会」では、パート優勝という嬉しい成果もありました。

また、毎年多くの参加者でにぎわう人気行事として子ども育成会との共催による「みかん狩り」なども行っています。

福祉会の活動も盛んで、体操教室のほか、スプリングコンサートやバスハイク、子どもたちとのクリスマス交流会など、多彩なイベントが実施されています。

これからも誰もが安心して暮らせる「住みよい若木台 6 区」であるように、隣近所で支え合い助け合う地域づくりを目指していきたいと思っています。

若木台 6 区自治会長：稲光 知美



300 歳ソフトボールパート優勝



クリスマス
交流会風景



～ 歴史探訪 第 8 回 ～ 江戸期の歴史シリーズ（神興の古老が語った話の次）

江戸時代の生活 大庄屋城戸小三郎『晴雨日記』より

今回は、祭りやイベントについて紹介します。

各地の神社では、春秋の祭りが行われますが、その際の奉納相撲あるいは相撲興行が催行され、見学したと十数回、記録されています。

畦町へ相撲有之見物二参（天保 10 年 9 月）、王丸ニ而秋祭り相撲（天保 11 年 8 月）、津屋崎ニ而稽古相撲興行（天保 15 年 5 月）、久末ニ而秋季相撲（天保 15 年 7 月）、神興ニ而雨乞寄角力興行（同年 7 月）とあり、当時は相撲が地域のレクリエーションになっていたと思われます。また、博多へ山笠見物ニ参（弘化 2 年 6 月）ほか、鯛網見物能入（天保 11 年 3 月）、良助方よりごち網見物に参（天保 11 年 5 月）、福岡地引網見物、大平鯰壱本地引網に入（天保 11 年 8 月）、手光へ参、小柳堤鮎漁見物（天保 14 年 9 月）とあり、漁に興味を示しています。（ごち網は船引き網の一種）

なお、大森宮神楽参詣（弘化 2 年 8 月）、手元新宅竈引神楽（同年 8 月）とあり、神楽が催行されていました。（新宅とは城戸家の新宅と思われます。）神楽は、現在、宗像大社他で奉納されていますが、神興地域では、催行されていません。

久末：的場文彦

～ぶらりまち歩き～

神興かしわ鍋を食す集まり

昨年 12 月、環境景観部会が中心になって食の交流会が開催された。

鶏肉のぶつ切り、鍋に入りきれないくらいにてんこ盛りのキャベツに塩、コショウ（唐辛子）だけのシンプルな鍋料理、名付けて「神興かしわ鍋」と呼んでいる。

厳選された地鶏とキャベツだけ。

水も出汁も加えない鍋料理ですが、これがすこぶる旨い。

まずは、そば打ち名人にそばを打ってもらい新ソバの香りと味を楽しみ、地酒（日本酒「神興」・麦焼酎「麦酔」）を酌み交わし、語り合う。地産地消に舌鼓。フィナーレは全員での後片づけで幕が閉じ、一年を締め括る忘年会となった。

取材：樋口英典



～郷づくりからのお知らせ～

「第 14 回 定期代議員総会」が開催されます

令和 8 年 4 月 19 日（日） 10:00～ 神興東小学校体育館

* 令和 8～9 年度本部役員選出、8 年度予算など重要事項を審議します。

* 代議員以外の方でも傍聴できます。

* 議案書は総会終了後も郷づくり事務局で希望者に配布しています。

「福津市 300 歳ソフトボール大会」チーム募集

今年も 5 月に福津市 300 歳ソフトボール大会が開催されます。

郷づくり神興東では 1 チームでも多くの参加を目指しており、自治会でチームを組めないが大会に参加したいという方々で「連合チーム」を結成し出場する予定です。

ソフトボール大好きな方は郷づくり神興東連合チームに参加しませんか!!

募集要項については後日ご案内します。

編集後書

▼クロツラヘラサギが、北の国に帰る季節になった。

クロツラヘラサギは、毎年、津屋崎干潟に 20 羽ほどやってくる。

首を左右に振って干潟の生き物を捕食するしぐさが可愛い。彼らは絶滅危惧種。世界で 6,000 羽、日本には 600 羽ほど。十一月頃、はるばるロシアなどから海を渡ってくる。

▼昨年末に子どもが産まれました。毎日新しい発見があつて子育て楽しいです。

▼今年こそ「平常平安」でありますように！

▼3 月になると毎年 4 月始まりの手帳のリフィルを購入し、同じものを三十歳のころからずっと使っています。小さい枠にいつぱいの文字。今年度もたくさんの思い出をありがとう。

▼「正月は冥土の旅の一里塚うれしくもありうれしくもなし」の一首あり、だが鬼籍には未だ早い。すごいスピードで月日が流れていく、せめて郷は心豊かにゆっくりすごしていきたい。

▼郷づくり推進協議会が発足して二十二年を超え、郷づくりを取り巻く環境も大きく変わりました。活動の世代交代や見直しをする時期かなと考えるこの頃です。

（樋口）